

50年の絆：真鍋先生への感謝

原田宏子（アラスカ・アンカレジ）

2019年にアンカレジ市と千歳市は、姉妹都市提携50周年という節目の年を迎えました。9月に行われた千歳市での記念交流会には、アンカレジより15名の代表が参加しました。ベーリング海、オホーツク海、そして連なる北の列島を隔てた両市が、地理的隔たりを遥かに凌ぐ言語・習慣・文化の違いを超え、共に友好関係を築いて半世紀。背後には両市を熱い想いで繋いでこられた先輩・先人の方々があったことを覚えます。



アンカレジ・千歳市姉妹都市提携50周年
千歳にて記念祝賀会 - 2019年9月3~5日

真鍋先生

このアンカレジ・千歳の交流で、忘れてはならないお方が一人おられます。1969年の姉妹都市提携に尽力された真鍋辰夫先生。アンカレジ名誉市民でもありますが、半世紀にわたって友好関係を支え続けて来られた先生のお姿は両市民の心に深く刻まれています。

真鍋先生、私が先生にお会いしたのは、2009年の40周年の記念式典に、先生が千歳の代表団と一緒にアンカレジに来られた時でした。以後、私は姉妹都市委員として、何度も千歳を訪れる機会を得ましたが、先生は、いつも空港で迎えてくださいましたね。あるレセプションでしたが、私がバイオリンの演奏をしたことがありました。先生は「とてもよかった。You made my day!」と言われて鳴咽して泣かれました。私も一緒に泣きました。先生と心が一つになった一瞬でしたが、この時に、先生がどんなに両市の絆を大事にしてこられたのかを感じ取ることができました。先生、2019年の50周年記念では必ず会いましょう！と約束しましたね。でも、千歳空港に降り立った時、先生のお姿はありませんでした。これに先駆けること2016年の秋に100歳の天寿を全うされて天に帰られました。



真鍋先生、お出迎えありがとうございます！
- 2012年



あの時の友好試合忘れません。
スコア何でしたっけ？ - 2019年

50周年記念会では先生のお姿がなくて、ぽっかり穴が空いたような寂しさを感じましたが、先生のご臨在を感じる出来事がありました。それは、遡ること25年以上前に両市の少年野球の友好試合で競った二人がこの式典で驚きの再会をしたことです。千歳市代表の元少年野球選手とアンカレジのチームを率いていた元コーチとの予想外の出会いでした。このような再会を誰が予測できたでしょうか。先生が天から二人を結びつけてくださったとしか思えない、嬉しいハプニングでした。

両市が共に歩んだ 50 年間は、スポーツ、教育、文化交流など、様々な掛け替えのない出会いと心に残る思い出で満ちています。特に 5 年毎に開催される合同記念事業の他に、毎年为学校間の交流、恒例のミス・アンカレジの千歳夏祭りへの訪問行事は、30 年以上に渡って絶え間なく続けられてきました。



千歳化学技術大学の YOSAKOI ソーラン パフォーマンス。
2014 年の 45 周年記念行事のために来アンカレジ。



アンカレジ姉妹都市委員と千歳アイヌ協会の方々との交流
2020 年 1 月、アンカレジにて。

そして今！次の 50 年に向かって新しいことが始まっています。アイヌとネーティブアラスカンの友好関係が立ち上げられ、千歳のアイヌ協会より代表の方々がアンカレジを訪問されました。また小中学校間の交流に、新たに高校が加えられました。アンカレジと千歳の姉妹都市交流は、ただ今フル回転で前進しています。先生が熱い思いを込めて繋いでこられたお陰ですね。真鍋先生、ありがとうございました！